

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり12.3人と増加しています。この時期の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスによるものと考えられ、例年12月に流行のピークを迎えるため注意が必要です。全国的にもノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が相次ぐなど流行が広がっています。

感染予防には、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理などが重要です(次頁参照)。ノロウイルスは感染力が非常に強いため、集団生活の場では、特に徹底した予防対策を講じる必要があります。

2. インフルエンザ

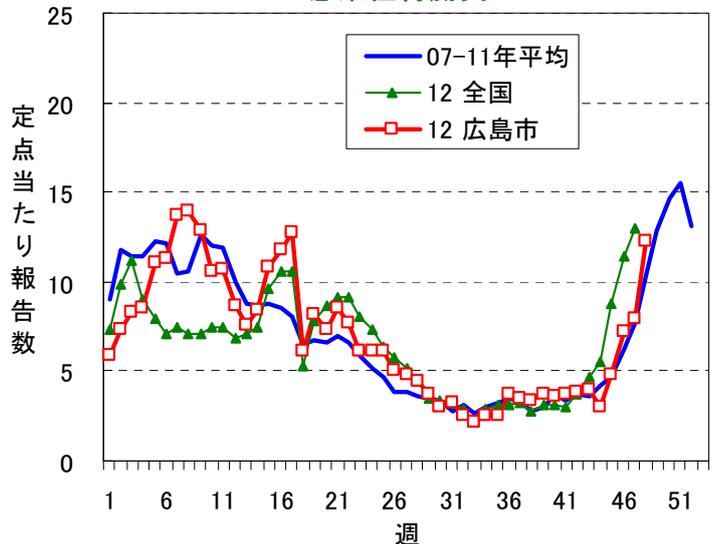
3人(定点当たり0.08人)報告されています(迅速診断キット:すべてB型陽性)。

寒い日が続いていますので、健康管理に注意し、外出後の手洗い・うがいの励行など感染予防に心がけましょう。

3. 水痘

定点当たり2.17人と増加しています。

感染性胃腸炎



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	3	0.08	9.16		ヘルパンギーナ	-	-	0.01	
咽頭結膜熱	12	0.50	0.40		流行性耳下腺炎	13	0.54	0.49	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.21	1.32	◁	RSウイルス感染症	20	0.83	1.12	◁
感染性胃腸炎	294	12.25	10.28	↗	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	52	2.17	2.29	↗	流行性角結膜炎	4	0.50	0.66	
手足口病	-	-	0.22		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	0.14		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	17	0.71	0.53		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.34	
百日咳	1	0.04	0.24		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	9	265	女性(30歳代)・2人、女性(50歳代)・2人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人、女性(90歳代)・1人、
4	つつが虫病	1	4	女性(30歳代)
4	レジオネラ症	1	6	男性(60歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第44週	第45週	第46週	第47週	第48週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
							3	4	19	73	25	-	-	11	6	1	8	9	-	-	-	2	4	-
定点当たり	広島市	第44週	0.08	0.17	0.79	3.04	1.04	-	-	0.46	0.25	0.04	0.33	0.38	-	-	-	0.29	0.57	-	-	-	0.14	-
		第45週	-	0.21	0.83	4.75	1.50	-	0.13	0.46	0.33	-	0.50	0.79	-	0.25	-	-	-	0.14	-	-	-	-
		第46週	0.08	0.38	1.63	7.25	1.13	-	-	0.71	0.17	-	0.50	1.29	-	0.13	-	-	-	0.57	-	-	-	-
		第47週	0.16	0.08	1.42	7.92	1.38	-	-	0.46	0.08	-	0.21	1.00	-	0.25	-	-	0.14	0.14	-	-	-	-
	全国	第46週	0.14	0.30	1.66	11.39	1.28	0.55	0.04	0.59	0.03	0.08	0.33	1.08	0.01	0.58	0.01	0.03	1.32	0.06	-	-	-	-
		第47週	0.22	0.32	1.57	13.02	1.46	0.46	0.04	0.50	0.02	0.06	0.32	1.05	0.01	0.48	0.01	0.04	1.06	0.05	-	-	-	-

■新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。

● ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう ●

【予防のポイント】

◆手洗いの励行

最も基本的なことは、手洗いの励行です(特にトイレの後、便や吐物処理した後、調理の前、食事の前など)。手洗いは石けんを使用し、しっかりと流水で洗い流してください。

◆食品の十分な加熱

ノロウイルスが含まれている可能性のある食品は、中心部まで十分(85℃以上で1分間以上)加熱しましょう。

◆調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤(*)または熱湯で消毒しましょう。

◆便・吐物の適切な処理

患者の便、吐物には多量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤(*)で消毒しましょう。

*塩素系消毒剤としては台所用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

詳しくは、広島市感染症情報センターHP「[感染症トピックス／ノロウイルスによる感染性胃腸炎](http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/000000000000/1265934252697/index.html)」をご覧ください。

★世界エイズデー「レッドリボンキャンペーンin広島」(12/8アリスガーデン)を開催します!

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/000000000000/1193275461263/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp